

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0193500121		
法人名	医療法人社団 上田病院		
事業所名	グループホーム たんとん (空ユニット)		
所在地	室蘭市日の出町2丁目2番26号		
自己評価作成日	平成27年2月15日	評価結果市町村受理日	平成27年4月3日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

各居室やリビング内の日差しが良く入居者さんからも「日差しが良くて気持ちがいいです」と話されています。皆さん毎日が生き生きと笑顔のたえないユニットです。廊下のスペースも広く毎日の日課として、手すり運動や歩行訓練など取り組んでいます。行事では誕生会、バーベキュー、ぶどう狩り、など家族にも参加していただいています。他には大運動会、植物園、花見、紅葉見物などドライブに出かけています

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_2014_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0193500121-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_2014_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0193500121-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社 ふるさとネットサービス
所在地	札幌市中央区北1条西7丁目1番あおいビル7階
訪問調査日	平成 27 年 3 月 11 日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは、介護事業を手広く展開している医療法人のノウハウや経験を十分に活かし、安定したサービスが提供されています。平成15年に開設した隣地の系列グループホームと連携して、当地で築き上げてきた地域との関係を継続して良好な応援を得ています。医療面では、隔週の健康相談が実施され、日常的な医療支援を通して看取りケアも実践しています。家族とのコミュニケーションを大切に、毎月発行の通信の他に月次報告として、利用者の現状を具体的に伝えていきます。来訪者が多いことも特徴の一つであり、家族を始め、地域住民や囲碁、舞踏などのボランティア、病院託児所の子供達との交流が、利用者の暮らしの豊かさと活性化に繋がっています。また日常的な機能訓練や戸外での気分転換、力の発揮を支えるなどの支援に積極的に取り組んでいます。開設して3年が経過し、職員と利用者が馴染みの関係を強くして、共に「たんとん」を作り上げてきています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します			
項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求め ていることをよく聴いており、信頼関係ができてい る (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2. 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3. 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3. たまにある <input type="radio"/> 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域 の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度 <input type="radio"/> 3. たまに <input type="radio"/> 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係 者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理 解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている <input type="radio"/> 2. 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3. あまり増えていない <input type="radio"/> 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2. 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく 過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2. 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な 支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	玄関に掲示している理念の基づき少しでもケアに近づけるように対応している	法人理念とケア理念は、玄関への掲示と職員の名札に記載して常に確認ができるようにしています。ホームの運営やケアサービスの実践を通して職員間で理念を共有しており、地域密着型ホームとして地域との関係を大切に取り組んでいます。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、避難訓練やお祭りなどの行事で町内会の人たちと交流を図っています。	町内会清掃などに参加協力したり、地域の祭りでは、ホームの玄関前で子供神輿を賑やかに披露してくれています。住民をバーベキューに招待し、各種ボランティアや病院託児所の子供達との交流もあって、地域との日常的な交流がされています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町内会、市役所、家族、地域包括センター、消防署などが参加する運営推進会議を通して情報収集している		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度運営推進会議を行っています。地域の方々や家族へ活動報告など意見交換をしています。	運営推進会議は、隣地の系列ホームと合同で開設し、行政担当者の他に毎回消防署職員の参加があります。地域代表も複数人の参加があり、ホームの現状を詳細に報告し、各メンバーからの意見や助言をサービスの向上に活かしています。	家族には通信の中で、会議の案内と報告を行っていますが、最近は参加が少ない状況です。今後は会議の意味を理解していただき、家族が参加しやすい働きかけを期待します。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	事業者の実績や取り組みを運営推進会議を通して報告しています。	行政とは、主に法人本部の事務長が対応しています。運営推進会議で相互の情報交換が行われており、利用者の認定調査時や年一回の現況報告、事故報告などを通して、協働関係を築いています。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠は、夜間のみ行い、身体拘束は行っていません。	内部研修や資料により、身体拘束防止についての理解に努めています。気になる言葉使いなどは職員間で互いに意識し合い、管理者も随時注意しています。利用者の状態やケアの可能性を十分に検討した上で止むを得ない場合は、契約書に則り適切に対応しています。玄関は夜間のみ施錠ですが、外出の素振りが見られる利用者には、職員と一緒に付き添い対応しています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	接遇委員会などで日常の言動など注意をしながら虐待防止に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人制度を利用されている方が入居していることで学んでいる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、書類を渡して説明を行い十分に理解を得られるようにしています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情・意見があった際には速やかに職員全員への周知を行い検討し速やかに対応できるようにしている。	毎月ホーム通信と健康状況や生活の様子を記載した月次報告書を送付しています。さらに家族の来訪時や電話連絡の際に、文書では伝えきれない様子などを伝えながら家族の意見などを聞くようにしています。キーパーソン以外の親族にも報告書等を送付して家族の要望に応じています。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニット会議、研修会などに参加し反映出来るようにしています。	毎月のユニット会議では、業務やケアサービスに関して協議しています。施設長や管理者は毎年行う職員自身の評価を基にした面談や日常業務を通して、職員の意見等を聞く機会を設けています。職員は薬や通信、日用品などの業務を担当し、ホームが円滑に運営されるよう分担しています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員が個々に担当業務の役割を持ち責任を持って取り組んでいる。自己評価を行い個別面談している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修・講習会への参加を促している。事業所内で毎年事例発表会を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域連絡会・研修会での情報交換を行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前に担当ケアマネ、家族などから情報を収集している。入居後は本人を観察しながら生活していただいている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族との連絡を取りながら、不安なことや要望など家族の思いを聞き、話しやすい関係を作っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族の意向を聞き、他のサービスの利用を含めた情報を提供している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事など一緒に会話しながら食べたり、入居者さんとの信頼関係をもち生活できるように努めている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族とは面会の時など情報を共有し、コミュニケーションを多く取るようにして信頼関係を築けるように努力している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会・外出・外泊は自由に行っている。歯科・整形外科など通院送迎を行っている。	友人が面会に来た際には、居室でゆっくり話せるように配慮しています。行きたい場所への外出を希望する利用者はいませんが、法事やお盆には家族と一緒に外出する利用者もいます。系列ホームの職員や利用者、頻回に来訪されるボランティアや家族の方々とは顔馴染みになってきています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士ソファに座り、テレビを観たり、会話をしながら楽しんでいる。毎日リビング内で、体操・レクリエーションを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院などで退去する場合、受け入れ先の病院と十分に連携し情報を提供し本人が安心して過ごせるように配慮しています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人が望む暮らし方を本人又は家族から聞き意向に沿うように努めています。	利用者のその時々々の意向の汲み取りを丁寧に行っています。発語が困難な場合は、家族の情報も得て利用者の立場に立って検討したり、仕草や表情から察する事で、できる限り利用者の意向に沿った支援に努めています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族からの情報とアセスメントでこれまでの生活歴・生活環境の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりがその人らしく過ごせるようにプランを作成しケアを行っています。その時の状況に応じた対応をしています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・家族の希望を聞きながら、一人ひとりに沿って具体的計画を作成しています。職員全員で統一したケアが出来るように心掛けています。	入居後1カ月は半月毎に見直しをして、スムーズに生活が再構築できるようにしています。介護計画は、毎月のモニタリングや6ヶ月毎のアセスメントを経て見直し、また状態変化に即して新計画を作成しています。医療面や職員の気づきを基に、利用者、家族の意向を聞きながら具体的な支援を提示しています。日々の記録は計画に基づいて確認し、職員間で共有しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護計画に基づき日々の様子やケアの実践を介護記録として個別に記入し職員全員で情報を共有しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族から要望があった場合は、その都度対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議には町内会長、消防署、市役所の方などに参加してもらっています。年に2回春・秋に町内会・消防と連携して防災訓練を実施しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診の際には本人・家族の希望により受診先を決めています。	入居前からの主治医の受診は可能ですが、現在は殆どの利用者が母体法人である病院をかかりつけ医としています。歯科や整形外科等の通院もホームで対応しています。また母体病院の医師や看護師による無料訪問健康相談も隔週で行われています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員を確保しています。法人内の看護職員も訪問看護に月2回来てくれています。			
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際には、介護添書を作成し、入院後も同じケアが受けられるように努めています。回復状況を確認し、退院後の生活がスムーズに行えるように情報収集に努めています。			
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期の覚書に沿って本人や家族が希望される生活が出来るように努めている。主治医と連携しながら指示のもと要望に沿えるように配慮しています。	契約時に、重度化や終末期の対応を説明し、3カ月後に改めて家族と覚書を交わしています。終末期への移行に際して、関係者間で綿密な連携の下、看取りケアを支援しています。職員は、看取りの経験を今後のケアに活かすようスキルアップに努めています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	応急処置のマニュアルを作成しています。朝の申し送りの時に、緊急時のシュミレーションを実施しています。			
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回防災訓練を行っています。職員全員が訓練に参加できるように配慮しています。入居者、町内会の方にも参加してもらい実施している。	春と秋に、消防署や町内会の協力で昼夜を想定した避難訓練をしています。隣地のホームと相互連携が取られています。地域の津波避難訓練に利用者と共に参加し、緊急連絡網の整備、災害時に必要な各種備蓄品を準備しています。	ホームでは、防災対策に積極的に取り組んでいますが、今後は当地で考えられる自然災害や、日常サービス時（入浴や食事等）の具体的な対応策の検討や訓練など、職員全員が慌てずに対処できるよう日頃からの取組みに期待します。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉の声掛けや対応には、十分に気を付けプライバシーを傷つけないように注意しています。	接遇の基本として、上から目線や強制と伝わる言葉使用、無理強いする対応をしないなど、具体的事例を共有して、利用者を尊重した対応を実践しています。個人記録の管理も適切にしています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	言動や表情に観察しながら本人の思いや希望を叶うようにしています。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者一人ひとりのペースに合わせて生活しています。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	好んでお気に入りの服を自分で選んで着ています。自分で出来ない方には職員が介助しています。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その人にあった食事を提供しています。一緒に調理が出来る方はいませんが、じゃが芋の皮むきや下膳など声掛けながらお願いをしています。	系列ホーム統一の献立で、バランスや彩り、季節感にも配慮があります。食事量、刻みやミキサーなど食形態の変更、食事制限などきめ細かに対応しています。調理や下拵え等を一緒にされる利用者もいます。誕生会や合同食事会、バイキングなど食の楽しみを多く工夫しています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの食事量・水分量の把握、その時の状態に合わせて、毎食や水分を提供しています。その人の状況に合わせて刻み食、トロミ剤を使用しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人ひとりの状況に合わせて、毎食後歯磨き、義歯洗浄、うがいをしています。磨きの残しなど自分でできちんと出来ない方には、介助をしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個別で排尿パターンを把握してトイレに誘導しています。ズボンなど上げ下ろしなども出来る限り自分で行ってもらいたい出来ない部分を介助しています	利用者全員の排泄パターンを把握して、個々に合わせた対応を行い、利用者の恥ずかしさやプライドに十分注意して関わっています。衛生用品は、日中や夜間、身体状況に即して変更し、清潔保持と気持ちよさに配慮しながら排泄の自立に繋がるように取り組んでいます。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日排便の確認を行い、下剤の調整、座薬の使用、水分摂取などで対応しています。食物繊維の多いものの提供など排便がスムーズになるように取り入れています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	本人が希望する日や時間に入浴出来るように配慮しています。入浴を拒否する時には、日程を調整したり時間を置いたり、職員を変えるなどして対応しています。	毎日午後の時間で入浴を準備しており、拒ばむ場合も本人の意を受け留めて調整しています。重度の利用者もゆっくりと湯船に入れるよう複数介助で対応しています。冬季以外は毎月法人のデイサービスの入浴場で温泉気分を味わえるよう支援しています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの状況に日中・夜間に関わらず休んでもらっています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬名・用法・用量など個別にファイルしてあります。薬は医師に指示もと服薬しています。服薬時には、誤薬防止の為に職員が声かけをだし、名前・日付の確認をしている。症状の変化により医師に指示で頓用薬を使用することもあります。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その人に合った楽しみが出来るように塗り絵、貼り絵、テレビ観賞、新聞、雑誌の講読、散歩、ドライブなど行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	職員と一緒に散歩・ドライブ・通院・買い物に出かけています。夏はまいにち玄関前で日光浴、施設周辺の散歩など行っているが冬場は外に出る機会が少ないが玄関まで出て外の空気を感じたりしている。	季節の良い時期は、毎日中庭での日光浴やラジオ体操、近隣の散歩や買い物と戸外に出る機会を積極的に支援しています。お弁当持参でお花見やぶどう狩り、水族館見学などと、外出支援に努めています。また冬期間の植物園へのドライブは、温室の温かさが利用者に好評です。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を持っていると安心するので持参している方もいます。買い物の希望があれば、職員と一緒に出掛けたり、代わりに職員が購入して本人に渡しています。			
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	公衆電話を設置しており、希望があればいつでも対応できるようになっています。			
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下が広いので手すり運動などレクで活用している。リビングでテレビを見て過ごす方が多いのでテレビの音量など配慮しています。	建物内部は木目調の落ち着いた感ある空間で、ホールのように余裕ある共用スペースでは、利用者の機能維持運動や室内運動会、舞踏などのイベントなどに活用されています。ソファもゆったりと配置され、利用者の居場所の確保が十分です。温かみのある観葉植物や季節の装飾もすっきりと置かれています。行事の写真や利用者の作品は、利用者と家族をつなぐ話題の提供になっています。採光や空調、温・湿度にも配慮されています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングやソファで自由に過ごしてもらい、気の合う人同士で話しをしながらおやつを食べたりテレビ観賞をして過ごしています。			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、馴染みのある長年使用していたタンス、鏡台、椅子等を使用している。	居室には、ベットやカーテン、上置き棚が設置されています。深引き出しのチェストはオムツやタオルの収納用にホームで用意しています。自宅で使用していた筆筒や鏡台、大切な仏壇などが自由に持ち込まれ、使い易い配置になっています。手製のパッチワークや家族写真が飾られており、居心地良い空間になるようにしています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	毎日体操や手すり運動、歩行訓練などを行っています。			